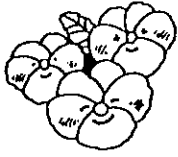


KSKR
NO. 23



パンジ
だより

発行 1997年7月
編集 クリエイティブハウス
"パンジー"

田村 伸

第4回 パンジー祭り



クリエイティブハウス・パンジーがオープンして5回目の夏本番を迎えようとしています。ついこの間までは、ジャンパーを着てパンジーと家を寒々と往復していたのに、時間が経つのは本当に早いと感じている私であります。

パンジーでは新たに4月から西村修君と河野伸孝君の2人がメンバーに加わり、総勢37名となりました。パンジーも今年度からはショートステイ事業をスタートし、毎日毎日、朝から晩まで“てんやわんや”の大忙しの連続です。その中、快晴のもと4月26日にパンジーまつりを開催しました。パンジーまつりは「地域に開かれ地域と共に」を念頭に置き、地域の人々とふれあいや交流を持とうと開催し、今年で4回目を迎えることができました。

今回は、一日中パンジーで楽しめるように奇術師を招いたり、ピアノ・ギターコンサート、カラオケ大会をパンジー内で催しました。外ではフランクフルト、やきとり、綿菓子、ミルクせんべい、あてものコーナー、たこやきの模擬店を出しました。

また、メンバーもカラオケや合唱をしたり、出店で販売を通して多くの人たちと共有する時間をたくさん持てたと思います。また、バザーも地域の人たちにご協力いただきたくさんの品が集まりました。本当にありがとうございました。

パンジーまつりも終わり、6月11日からは沖縄へ旅行に行ってきました。今回はどらえもん会を中心に沖縄戦に関するビデオを見て勉強をしました。旅行日記はどらえもん会のページに掲載していますのでぜひお読み下さい。(竹内)

パウンドケーキを お楽しみに!



皆さんこんにちは。暑い日が続きますがいかがお過ごしでしょうか。パン部門では、予想外の注文が入り、メンバーともども忙しく、にぎやかに、がんばっています。

さて、前回お知らせしました、新製品のパウンドケーキですが、猛練習を積み、何度かイベントにも出店し、そろそろこれを読んでいる皆さんにも、自信を持っておすすめすることが出来るようになってきています。ごく近い将来、パウンドケーキを持って皆さんの所へ、セールスに行くことになることなのでしょう。その節は、どうかよろしくお願いします。

また、その他の新製品に関しても、いろいろと、失敗を繰り返している最中ですが、少しずつ、前進はしているつもりです。もう少しお待ち下さい。

(よしたけあつお)



初夏のひさし、いっぱい
ジャガイモ・ハーブ

クリエイティブ部門より

初夏の陽ざしがきつくなってきたこの頃、皆さんお元気でしょうか。クリエイティブでは、この春から奈良の畑で育ててきた有機栽培の「じゃがいも」を、先日数回に分けて収穫しました。メイクインに男爵と、パンジーのメンバーのように色んな顔をしたじゃがいもはなかなかの味! この数ヶ月間、畑に通って汗をかき、どろどろになって育ててきたメンバーはとても嬉しそうです。このじゃがいもと同様、パンジーの中庭のハーブや花の苗も、土を触ったり植物が好きなメンバーが大切に育てています。ご近所のスーパー「カナエ」での店頭販売でも色々な方々に広まっています。皆さんぜひ、メンバーが心をこめて育てた「じゃがいも」や「ハーブ」をよろしく願います。

(にっちゃん)

『わくわく』のページ よかったこと、気にしてほしいこと④

この前のわくわく活動で、ファンタジードームに行って来たMさんが、パンジーの職員に次のような感想をぶつけてきました。

Mさん「(ファンタジードームは)おもしろなかった。食べるものを(ヘルパーさんに)勝手に決められた。」

職員「ヘルパーさんに何食べたいかゆうたん？」

Mさん「ゆうてもどうせ聞いてくれへん」

職員「そんなこと言わんど、伝えた方がええん違う？」

実はMさんは、ダイエットをされていて、“自分の体の事も考えないとあかんし、でもこれが食べたい!”と思った食べ物があったようです。でもその時、ヘルパーさんから「何が食べたい？」と聞かれても、そんな自分の気持ちをうまく伝える事ができなかったのです。それまでは、ヘルパーさんと楽しく買い物したりして過ごしていたのですが、結局、この食事の事が一番強く印象に残り、職員に上のような気持ちをぶつける事になってしまいました。

難しいことですが、メンバー一人ひとりの状況をつかんで心の底にある本当の気持ちを確かめていくことが大切だと思います。

5月24日、第1回目のヘルパー研修会を開催しました。参加者は、職員も合わせて10名あまりで、こじんまりとした研修会になりました。
ヘルパー研修会 「障害者と人権」というテーマで水戸事件についての資料を読みながら、知的障害者が置かれている厳しい差別の現状を見つめました。

次に障害者の立場に身を置いて考えてみようということで、三つのことについて考えてみました。

1. 知的障害者と判定されたら、どんな生活になると思いますか？
2. その結果、本人の中にどんな影響が出ると思いますか？
3. 上で出された意見を聞いてどんな風に感じますか？

みんなで「えーっ!」「ほんとかなあ」と、ワイワイ言いながら、思いは届かないながらも楽しい話がありました。(まめやん)

第2回ヘルパー研修会
「コミュニケーションのむずかしいメンバーとの関わりをめぐって」
中新井先生をお招きして

7月19日(土) P5~7時 於:パンジー

ショートステイをより
メンバーの自立と
地域生活の拠点として

スタートしたばかりのショートステイに、多くの人たちの利用がありました。当初は、タオルはどこ？ シャンプーはどこ？ 調味

料がない！ やかんがない！ など、利用者に（厨房にも…）迷惑をかけながらのスタートでしたが、今、やっと落ち着いてきたところです。

メンバーのあいだでは「今日、だれ泊まんの？（岡本君）」「今日、〇〇君泊まりやな！（富田さん）」「今度のショートステイ、パチンコ行こ！（梅原君）」「今日、泊まる……一緒（西田君）」と、楽しみの一つになってきているようです。

6月には、外部からの利用の問い合わせも、若干あり、新しい展開がありそうです。そんな中、さらに利用者の生活しやすい、ショートステイをめざしてがんばっていかんとあかん！ って気持ちです。 (みつよし)



のぼたこうじ
野畑宏治の

すんばらしい映画

第1回「誘拐」 出演：渡哲也・永瀬正敏

刑事の渡哲也が カバンもって 走った。

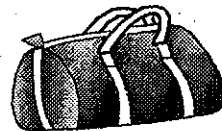
そして犯人逮捕した。西川きよしの息子がでてた。

渡哲也の娘がでてた。

(いちばん おもしろかったのは?)

誘拐するところがおもしろかった。

永瀬正敏がな、さいご泣いてん。



バンジーの講演会を聞いて どうでしたか?

メンバーが講演に行った先方で頂いた感想を紹介します! みなさんの声は、メンバーの励みにもなっています。

➡ 初めて障害を持っている方たちと話し合う機会をもたせていただき、とっても身近に感じました。また、ショップパンジーにも行きたいと思います。あかるく人生に対して前向きに歩いておられると思いました。もっと自然な形で交わる機会があればいいなあと思いました。(大東市明社協 市民講座)

➡ いっしょうけんめいにはなす姿や、ウイットのある話しぶりでホットな気持ちにさせ

てもらえました。べんきょうがしんどい子どもを たんにんしていると「この子は、大きくなったらどうやっていくのだろうか」と思っていました。つらいことがあっても、がんばっているのでもいいなと思いました。まだまだ、やさしくない先生がおおいので、ちょっとずつでも かえていくように どりよくしていこうと思いました。(障害児教育研究集会より)

➡ 今まで自分が思っていた知的障害者と全然違うことに驚いた。自分の意志をはっきり持っていて、いやなこともあり、やりたいこともある。ほとんど普通の僕たちと同じだということがわかった。(大阪市立大学)

厨

房



よ

り

前々号のパンジーだより“心のねたきり”の中で、私が中新井先生の主旨を正しく理解せず、まちがった解釈の文章を書いたため、先生には大変ご迷惑をおかけしましたことをここにお詫び申し上げます。

さて、4月以来、新体制でざわついていたパンジーも、みどりが深まるとともにいつものリズムが戻ってまいりました。厨房も、50人前後の昼ごはんに加えて、10人~15人のショートステイとグループホームの夕食の一品を週に3回作っています。また、オープン時以来相棒だったヤングマンY君が「パン屋」と「ショップ」へ移動して、今や厨房は平均年齢が急上昇し、衰退化の進んだ心身を口と気合いの絶妙な? チームプレーで補い合いつつ、その日食べてくれる人たちの顔を一人ひとり思い浮かべながら毎日の食事作りを楽しんでいます。数十人の強烈な個性が繰り広げるドラマチックなパンジーの一日はあっという間に過ぎていきます。

さて、今年もまた食中毒のシーズンになりました。0-157をよせつけない様、一層気をひきしめて、この夏を乗り越えたいと思います。(河野)

バンジーりょこう in おきなわ

6月11日(水)～13日(金) 2泊3日で、おきなわにいきました。

いちにちめ

バンジーに集合して バスで開空へ。
きょねんにひき続き、2回目のひこうきを
つがった旅行なのでみんな よゆうでした。



ひこうきが、ジェットコースターみたいでおもしろかった。
はじめての旅行で、はじめてひこうきに のれた。
上では、晴れてて くもがもくもくでてて、下では雨なんかあ、
“へっへっへ”と 思った。 (栗岡)



おきなわにとうちゃくして バスで
東南植物楽園に むがいました。

東南植物楽園にいて、木をみたり
さわったりして、ザラザラの木もあり
ました。1日目は、歩いているときに
暑かったので、はあっている服をぬい
だりしました。 (田辺)

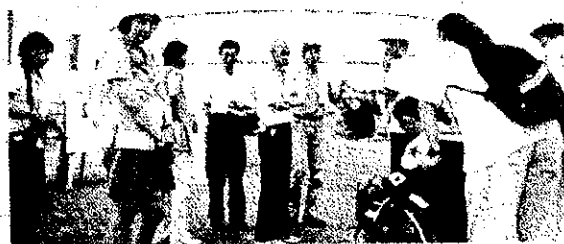
ホテルは「JAしプライベートリゾート・オクマ」。すぐ目の前に海が
あり、かっこいい、きれいなところでした。

夕食後は、がまんできなくて、早くも海にとびこんだ人も・・・!

ふたつめ

ビーチグループと 反戦ツアーに
わかれてフリータイム!

反戦ツアーは、知花昌一さんの案内で
読谷村の基地や、「チビチリガマ」を
見学したり、地元の人たちと交流を
しました。



戦争は人がいっぱい死んでばかりだったから、かわいそうだった。もう戦争やったらあかんと思った。(梅原)

戦争はいらない。平和が一番と思った。(平石)

あんなところにアメリカ人がいるとは思わなかった。(森)

ビーチグループは海で泳いだり、ビーチバレーボール大会でもり上がりました。昼からは、チームにわかれてグラスボートやサイクリング、岬ツアーなどを楽しみました。

海でおよいだことが たのしかった。
きれいだった。(福田)

大きなうきわにのって みんなに
押しもらった。バレーボールは、
はじめは強かったのに、だんだん
まけちゃった。(青山)



夜は、大宴会。おいしい料理とオリオンビールでがんばり！琉球舞踊をみんなて踊って、記念撮影。

楽しかったのは、ほんおどりみたいなふくをきて 写真写したこと。また、もっかい行ってみたいなー思て。(清水)

— なにがたのしかった？
<おどるゼスチャーをする>
— みんなでおどったこと？
うん！ (久保)

おかあちゃんにおみやげ買って マネージャーとあそんで おきなわの人と おどったときに おはして指揮者をした。(野畑)

みづかめ

バスにのって、那覇へ。おみやげをたくさん買いこんで、ひこうきで大阪にもどってきました。





問題行動とは、あくまで周囲がそう捉えているのであって、本人にとっては無理からぬ事態の反応であることも多い。

①要求を通そうとする意志または通らないことへの反応、②状況が理解できないための困惑や回避の表現、③周囲の無関心に対する反応、④特別な感覚や状況への強いこだわりの

表現などが考えられる。

パンジーにおい

ても、問題とされる行動は日常的に頻発している。中には、一緒に生活している者の神経をすり減らすようなものもあるが、慣れればほとんど問題にならないのも多い。だが、一步パンジーの外に出れば、迷惑行動として苦情が寄せられることになる。

スタッフはまず、問題とされる行動への理解を深めることにした。おしまコロニーのガイドブックを参考に、本人の立場からの原因や、行動が起きる時の周囲の状況、これまでの経緯、その行動を変えることの必要性、社会の側の許容度など話し合っている。

自傷他害、器物破損、強迫性行動や奇

声、跳びはね、放浪など、これらは持っている障害からではなく、育ってきた中で二次的に身についたものである。長期間続いているかなり習癖化しているのもあって、行動そのものを変えるのは困難な場合もあるが、不適切な対応により、よけいこじらせたりしないよう心がけたい。突発的に見える行動も、必ず引き金になっている原因がある。それを事前に察知し、特に他害などは毅然と制止する。やってから注意するより「してはいけないこと」が伝わりやすいと言われている。また、代わりの許容される行為を見つけ

て、お互い折り合いをつけて生活できるようにしてきた。

このように外に向

かう行為は、少々周囲は迷惑でもまだ対応が模索できる。だが、強度な自傷行動をもつDさんには、祈るような気持ちで側にいて、頭や顔を強打するその手を時々ぎりしめながら見守ることしかできなかった。

お母さんと話し合って、症状の悪化を覚悟で母子分離してから1年、パンジーの生活がようやく彼の中に根づいたような実感がある。

ほほの青アザがとれたことも喜ばしいが、何よりお母さん以外の人と安心して生活できる基盤ができたことが本当にうれしい。次回は彼の1年をふり返ってみたい。

問題になっている行動

中新井 濠子

新 員 紹 介

河野 伸孝 (かわの・のぶたか)



いつも朝、元気よく「おはよう」って声かけてくれる。

by 栗岡

ゴムはめ、上手にはめてる。顔がハンサム。by 福田
明るさが好きやな。by 肌勢

手、タオル巻いてるのがかっこいい。by 西田
いつもにこにこしてて、それが素敵だと思う。これから
もパンジーの中でうれしいことを一杯みつつけてほしい。

by 池内

西村 修 (にしむら・おさむ)



目が山内君に似てるから好き。

by 平川

仕事熱心で黙々と自分の作業を頑張ってるやっています。
少しずつ自分のペースが持ててきたようで、昼休みには
他のメンバーが歌うカラオケに手拍子を合わせて一
緒に口ずさんでいます。

by 大北

林 光祥 (はやし・みつよし)



少し、年老いた新人です。年をくってる分、極めて斜め
から物事を見てしまうところがあるのですが、今まっす
ぐに物事をみつめるメンバー・先輩職員に刺激され、自
分自身をみつめ直しているところです。……私めの呼
び方が、二ヶ月の間に「林さん」～「みつよしさん」、
今では、「みっちゃん」……、ア～ア～、これにも慣
れてしまった42さいです。

(10ページ下につづく)

バザー物品の提供 **あ****り****が****と****う** ございました。

このたびは、クリエイティブハウス「パンジー」のバザーにご協力いただき、誠にありがとうございました。おかげさまで「パンジーまつり」は盛況のうちに無事終えることができました。尚、バザーでの収益は、パンジーの活動に役立つよう、「わたがし機」および「物置」の購入にあてさせていただきました。今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

山本 山前 長岡 寒川 馬場 高木 吉田(鴻池町) 山中 島下 坂田
橋本 木下 福田 藤永 本田 吉田(加納) 国吉 長谷川 竹林 小松
衣川 上出 村瀬 中村 脇 名村 藤井 尾崎 中西 住野 窪 太田
橋 稲垣 平川 土井 塚田 伯井 島田 柳 東谷 茂岡 松野
佐藤(中小坂) 大内 内田 伊達 山下 有久 出立 草野 竹木田(協
生産業) 播磨機工商会 (敬称は略させていただきました)

(9ページ「新人紹介」つづき)

畑中 満智 (はたなか・まち)



初めて経験することばかりで、かなりドキドキしながらやっています。メンバーの皆と一緒にいると、元気な気持ちになれて、色々なことを学んでいるような気がします。さをり織りの糸も、ようやく一人で組めるようになって、……一歩ずつですが、一生懸命やっていきたいと思います。絵を描くことが大好きで(油絵、水彩・アクリル画など)、ずっと続けています。

豆子 寿士 (ずし・ひさし)



四月から37名のメンバーと関わりはじめて、毎日驚いたり、戸惑ったり、うれしかったり、ついつい怒ってしまったりと大変な三ヶ月でした。でも、旅行疲れもなんのその、パンジーで働けることができ、本当によかったとしみじみ感じながら頑張ってます。誰もが人間らしく生きられる社会が僕の夢です。皆さん、よろしくお願ひします。

パンジー夏の旅行 IN おきなわ



・ビーチバレーボールを全員参加形式でやりきったということにすばらしさを感じました。障害（身体的ハンディキャップ）を考えると、車椅子や視力障害のあるメンバーは後方に追いやられてしまうのですが、そういうハンディ=障壁を取り払いみんなでやることの楽しみを大事にしている。そういうパンジーの思想性—創造性というものをもっともっと大事にして、今後も楽しいプランを創出してってください。 (川原さん)

・部分的ではなくこういったボランティアに参加できたこと、沖縄に行けたこと総括的に自分にとっていい思い出ができてよかった。 (森山さん)

・昨年の長崎旅行と比べてメンバーも職員、ヘルパーの皆さんもどこか旅慣れた雰囲気、何事も経験だなあと思いました。今回、海という自然の中で過ごすメンバーの顔が生き生きと見えて印象的でした。観光中心の旅よりもリゾート型の方がくつろぐのではないのでしょうか。 (高橋さん)

・今回のメンバーでは「チェンジ」が3回もあり、パンジーに“浅い”僕には大変な面もありましたが、より多くのメンバーと接する機会がもて、去年の長崎旅行よりずっと楽しめました。 (梅本さん)

・沖縄に飛行機に乗って2泊もすると聞いてとてもびっくりしました。とにかくすごいと思いました。 (松家さん)

・全員が楽しめた旅行だったのではないか、ということ強く感じました。とてもリラックスした雰囲気「何かしなければ」とかまえてしまっている私の心も自然とほぐれていったような気がします。障害を持つ人とのコミュニケーションが、形は色々あるとしても本質的に特別なものではないということ、旅行に参加して改めて実感できたように思います。 (金森さん)

・いろいろはめもはずして、楽しそうにしていました。よかったかな。反戦ツアーの方も、何せ初めてのことで、気を張りました。知花さんのオープンな人柄と機転にだいぶん助けられました。メンバーの感想でも「行ってよかった」という声も多く、よかったなと思います。知花さんら現地の人たちと、今後ともよいおつきあいができたらいいなと思います。 (広田さん)